

◆生活科 目指す子供の姿の系統表◆

	小1前半	小1後半	小2
2年間で目指す自律性が育まれた姿	①「～したい」という思いを持って繰り返し活動していく中で、自分自身への気付きを獲得していく姿		
	②対象のよさを感じながら、目的を持って活動することを通して、自分自身の成長に気付いていく姿		
目 標	③経験を基に自分の思いを膨らませ、それを実現していくことを通して、自分自身の成長に気付いていく姿		
	(小)第1学年及び第2学年		
単元における目指す子供の姿(A)とその姿を引き出すための手立ての視点(B)	「がっこうたんけん」(1)◎ A 学校施設について詳しくなったこと、学校の人々とのかかわりを深めた自分自身に気付き、楽しく安心して生活していこうとする姿。 B 2年生との学校探検の設定、探検範囲の限定を行った上で繰り返し学校探検する時間を設定し、児童の思いに合わせて掲示物やカードを提示していく。単元の終末にこれまでの学習を振り返る場面を設定する。	「いきものとなかよし～おはなをそだてよう～」(7)◎ A 植物を育てていく活動を継続的に行っていくことを通して、植物の成長や命について考え、大切に育ててきた自分自身に気付く姿。 B 対象の吟味と、日常的に植物に関わるための環境設定を行った上で、個別のかかわりや全体交流でのかかわりを繰り返ししていく。単元の終末にこれまでの学習を振り返る場面を設定する。	『マイストーリー』をつくろう(9)◎ A 自分の成長について情報を集め、まとめていく活動を通して、自分の成長には様々な人のかかわりがあったことに気付き、感謝しながら、これからの自分の生活に自信や意欲を持つ姿。 B 単元序盤に、これまでの自分たちの生活を振り返る場を設定し、単元のゴールの姿をイメージさせた上で、子供の思いに合わせた個別のかかわり、全体交流での関わりを繰り返ししていく。単元の終末にこれまでの学習を振り返る場面を設定する。
	「児童の生活圏としての環境に関する内容」における自律性が育まれた姿	学校施設について詳しくなったこと、友達や学校の人々とのかかわりを深めた自分自身に気付き、楽しく安心して生活していこうとする姿。	家庭生活を支えている家族のことや自分でできることなどについて考えていく過程で目的が明確になり、その達成に向けて活動していくことで自分自身の成長に気付き、自分の生活をよりよいものにしようとする姿。
「自らの生活を豊かにしていくために低学年の時期に体験させておきたい活動に関する内容」における自律性が育まれた姿	身近な自然や季節、動植物とのかかわりを通して、四季の変化や生き物への親しみを持ち、自分たちの活動への達成感を感じる姿。	身近な自然や季節、身近にある物とのかかわりを通して、四季の変化や自然の不思議さに気付いていく過程で自分たちの活動の目的を見いだし、自分の頑張りや、友達と協同しながら目的を達成することができたことに気付く姿。	身近な自然や季節、身近にある物、動植物とのかかわりについて1年生に伝えたり、学校のまわり以外の地域と比べたりすることを通して、四季の変化や自然の不思議さ、生き物への親しみを感じ、自分の頑張りや、友達と協同しながら目的を達成することができたことに気付く姿。
「自分自身の生活や成長に関する内容」における自律性が育まれた姿		1年間の学校生活の思い出を振り返り、自分なりに表現する活動を通して、自分でできるようになったことや役割が増えたことなどに気付き、2年生に向けて自信や意欲を持つ姿。	自分の成長について情報を集め、まとめていく活動を通して、自分の成長には様々な人のかかわりがあったことに気付き、感謝しながら、これからの自分の生活に自信や意欲を持つ姿。